

海上胤平 （後み） 歌人。文政十一年十一月二十日下總國飯岡生れ、大正五年二月、二十九日歿（一八九一—一九一六）。諱止胤、幼名八郎。號椎園。千葉周作の劍ぎ、加納諸平の和歌を學び文武兩道に達した。維新後官吏も、明治十六年上京。椎之木吟社を興して歌人を育成、また桂園派御歌所派を批判し、自ら萬葉調の新風を樹^かく、正岡子規、與謝野寛（鐵幹）等に影響を與へた。

著書 『東京大家十四家集評論』全二冊（明治十七年十一月六日版權元許、晚成社）、『歌學會歌範評論』（明治二十六年四月一日（木社）、『新自讀歌評論』（明治二十六年二月五日文學書院）、『八田知紀歌集評論』（明治二十七年九月十五日文學書院）、『椎園歌草』全二冊（瀧谷真可漸編、明治四十二年一月二十八日東陽堂）、『白土集』（選、大正四年六月十一日（文館）、『椎園家集』（大正四年十月十七日（文館）等。